

# 各区だより

## 昭和区



### 他団体との交流事業

昨年度から計画していた「世代間交流ポッチャ大会」を、昭和区子ども会育成連絡協議会と協力して、昨年8月2日に区役所講堂で開催しました。この大会はポッチャを知ってもらい、競技を楽しむことはもちろんのこと、子どもたちと高齢者の交流が大きな目的です。

当初は、なごやかクラブと子ども会の対抗戦でと考えていましたが、子ども会役員さんから「交流が目的なら対抗戦ではなく、個人でくじ引きをしてチー

ムになる方が交流になるのでは」との提案をいただいたので、当日くじ引きをしてチームを決める方法としました。全く知らない者同士でチームを組むので、チームワークなど大丈夫かと思いましたが、あいさつから打ち解けた感じで、何も心配はいりませんでした。お互いに投げける方向や強さを相談するなど和気あいあいとした雰囲気ゲームを楽しんでいました。なごやかクラブの参加者は、普段接することの少ない子どもたちと、楽しく過ごせたことが何よりうれしいうでした。

また、今年3月19日には、昭和区女性会のカローリング大会に、審判の派遣を依頼されたのをきっかけに交流大会を行いました。幅広い年齢の参加者(女性会の中にはなごやかクラブの会員も多くみえました)で、和気あいあいと楽しくプレイし交流を深めました。

今後、いろいろな事業での交流を図り、会員増加のきっかけにできればと思っています。(武井 政雄)



## 瑞穂区



### 根強い人気のペタンク 〜ニュースポーツの 種目から外せません〜



の開催が危ふまれないよう今から対策を講じる必要があります。

今年の大会は2026年開催のアジア・アジアパシフィック大会メイン会場である瑞穂公園工事の影響で開催が不安視されましたが、一部規制

「なごやかクラブ瑞穂」の年度当初の会員健康づくり事業は毎年5月の『ペタンク大会』から始まり、今年で31回目を数えます。名古屋16区の約半数の区老連が大会を開催していると聞きます。当クラブではペタンクはグラウンド・ゴルフやカローリングと並ぶ根強い人気で、全学区老連が用具をそろえ、互いの鉄球がぶつかり弾き飛ばす音が心地よいといった声が聞かれます。

があつたものの開催できるようになりました。しかし、来年は全面規制のため開催は不可能となります。そのため、代替大会の対応を担当する専門部会は今から頭を悩ませています。また、ペタンクはフランスが発祥で、百数十年の歴史があります。今年7月のオリンピックでは、既に廃止された公開競技にはならないものの、「紹介」くらいはと期待しますが、全く触れられない状況で、残念です。

今年の大会は、昨年から当ク

(吉田 憲二)

ラブの促進ルールを改正して、従来のトリプルス(3対3)方式にダブルス(2対2)方式を導入、かつ混在化を認めた全24チーム4ブロックリーグ戦で臨みます。単位クラブの減少に伴う会員の減少で将来、大会

